

平成28年7月4日

各位

会社名：株式会社会津ラボ
代表者名：代表取締役社長 久田 雅之
TEL：0242-23-8285

日産自動車 EV 車×ドローン制御技術『Dronet』 電力供給の仕組みなどで共同研究開発を開始

株式会社会津ラボ（以下会津ラボ、本社：福島県会津若松市、代表取締役社長：久田雅之）は日産自動車株式会社と共同で、電気自動車をドローンへの給電設備として活用する仕組みを開発し、業務用ドローンへの実用化を検証する取組みを、平成28年7月4日開始いたしました。

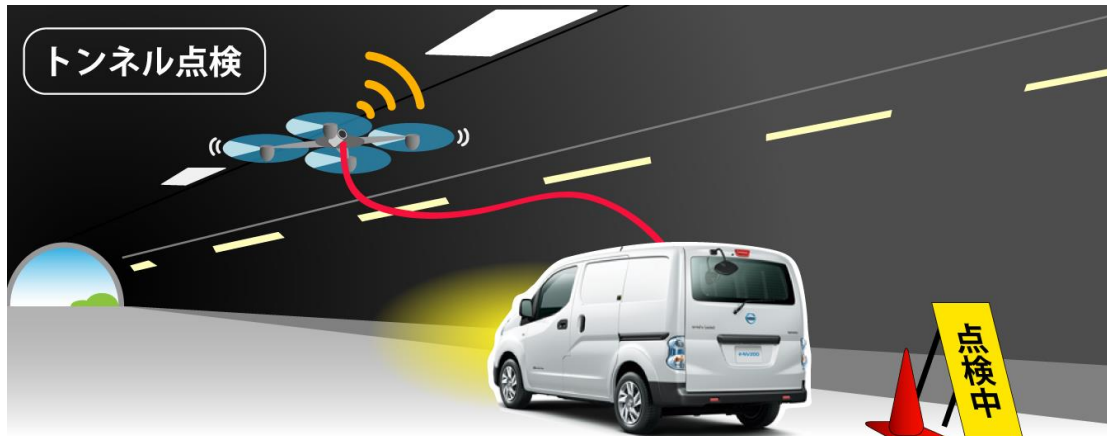
今般の取組みは、「高出力のモーターとインバーター」、「大容量のリチウムイオンバッテリー」、「配電設備」、「ノイズ対策」など、電気自動車が備える技術を活用して、ドローンの電力供給の課題を解決するものです。

具体的には、会津ラボが会津大学と共同で開発を進めているドローン制御技術『Dronet』を搭載した有線型ドローンを、『日産自動車e-NV200』の電源プラグに接続し、『日産自動車e-NV200』の離発着基地からドローンを離陸させ、一定の作業後に帰還させる仕組みを開発します。『日産自動車e-NV200』を給電設備また離発着基地として活用することで、車が入り可能なエリアでのドローンによる長時間の作業が可能になります。有線ドローンに続き、バッテリー搭載ドローンにも対応してまいります。

両社は、農業・土木業などの産業分野で点検・計測・データ収集・運搬を担う業務用ドローンへの実用化を視野に、それぞれがもつ知見を活かして、「安全な離発着の仕組み」、「ドローン用の電源供給ライン」などの共同開発を進めてまいります。

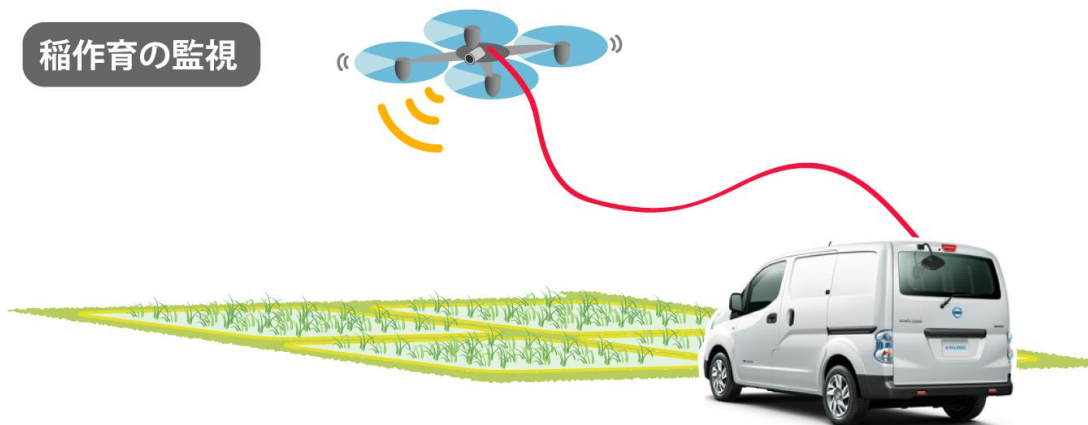


『日産自動車e-NV200』を、動く電源車として活用し、「車」+「ドローン」の組み合わせで、コンパクトかつ移動可能なシステムを実現します。トンネル点検や農業分野での応用などが期待できます。



有線型ドローン、バッテリー搭載のドローンを『日産自動車e-NV200』の基地局(チャージステーション)から離陸させ、一定の作業後に帰還させる仕組み作ります。離発着を安全に行う仕組みづくりなど、新たに研究開発を開始します。

稲作育の監視



日産自動車は電気自動車の新たな活用形態・販売モデルとして、会津ラボは電源確保、離発着場所の解決方法としての電気自動車の活用の可能性に大いに期待しています。

基地局
(チャージステーション)



株式会社会津ラボ

コンピュータ理工学を専門とする国際色豊かな公立大学法人「会津大学」(平成5年4月開学)の第1期生が、平成19年1月に設立。平成24年4月に商号を株式会社会津ラボへ改めました。会津ラボは、「会津大学」の大学発ベンチャー企業として公式認定を受けています。「会津大学」建学の理念“to advance knowledge for humanity”を掲げ、人類の為になる高度な知識と技術を世の中へ創出してまいります。

(1) 名 称	株式会社会津ラボ
(2) 所 在 地	福島県会津若松市インター西 53 2F
(3) 代 表 者	代表取締役社長 久田 雅之
(4) 事 業 内 容	iOS/Android 対応アプリケーションの開発/研究開発 ホームページ制作/3DCG 作成/映像加工/イラスト作成/各種デザイン
(5) 資 本 金	2,950 万
(6) 設 立 年 月 日	平成 19 年 1 月 4 日
(7) U R L	http://www.aizulab.com/

本件に関するお問い合わせ

株式会社会津ラボ【担当:久田、遠藤】

TEL:0242-23-8285 FAX:0242-23-8286 MAIL:info@aizulab.com

関連リンク

『日産自動車e-NV200』: <http://www.nissan.co.jp/ENV200/>